

# 次期公的年金シミュレーターの試験運用開始について

# 次期公的年金シミュレーターの概要

- 公的年金シミュレーターは、ねんきん定期便の二次元コードを読み取るなどして将来の年金受給見込額を簡単に試算でき、働き方や暮らし方の変化に応じた年金額の変化も試算できる。令和8年4月に老齢年金シミュレーターの大幅な改善に加え、障害年金やiDeCoの試算機能を追加しリリースする予定。
- 現行の公的年金シミュレーターを利用して、実際に試算を行った回数は令和8年2月末時点で1168万回超。



## ■ 公的年金シミュレーターの特徴

### 【簡単でスムーズな操作性】

- ・ ID・パスワードは不要で、すぐに試算を始めることができる。
- ・ 「ねんきん定期便」の二次元コードを利用すれば、よりスムーズに入力が可能。

### 【グラフを表示しながら試算できる】

- ・ スライダーを動かすと年金額の変化が一目で分かる。

### 【データ管理も安心・安全】

- ・ 個人情報は記録、保存されない。

## ■ 公的年金シミュレーターの使い方



**STEP 1** 「ねんきん定期便」の二次元コードをスマートフォンから読み込む

**STEP 2** 試算する年金の種類と生年月日を入力し「試算する」をタップ

- ① 試算する年金を入力
- ② 生年月日を入力
- ③ 試算を始めるをタップ
- iDeCo試算を始める場合

**STEP 3** 将来の年金受給見込み額がパッと表示されます！

簡単に条件変更が可能!

スライド

スライダーの移動やカーボタンのタップ、数字の直接入力で、「今後の平均年収」、「退職する年齢」、「年金を受取始める年齢」が簡単に変更できます。

※試算する年金の種類により変更できる項目が異なります。

# 次期公的年金シミュレーターによる障害年金・iDeCo試算機能

公的年金シミュレーターは、現役期における障害年金の受取見込み額の大まかな試算や、国民年金の被保険者が加入できるiDeCoに加入した際の積立額や取崩し額についてシミュレーションする機能が追加されている。



障害の程度(1級～3級)に応じて、**障害年金の大まかな障害年金見込額を一括で試算可能**。障害の程度を調べたい場合には「障害の程度」ボタンをタップして調べることが可能。

障害年金の手続の相談にスムーズに移行できるよう「日本年金機構公式サイト 年金のご相談(電話・窓口)」を案内。



iDeCo積立・運用での将来受け取り見込額の結果についてはグラフ及び数字で表現され、グラフ直下にあるスライダーを動かすと年金額がリアルタイムで変化し、一目でわかる。

iDeCo積立・運用での将来受け取り見込額を試算するための4つの重要な要素である「**積み立て終了年齢**」、「**受け取り開始年齢**」、「**毎月の掛金額**」、「**運用利回り**」を変更することにより、将来受け取る年金額の増減を簡単に試算することが可能。

# 次期公的年金シミュレーターによる将来の老齢年金見込み受給額試算について

「公的年金シミュレーター」は、将来受け取る年金見込み受給額を固定して表示するだけでなく、個々人の働き方暮らし方の変化による多様なライフコースに応じた様々なパターンの年金見込み受給額を簡単な入力で試算・表示することが可能。



年金見込み受給額試算の結果についてはグラフ及び数字で表現され、グラフ直下にあるスライダーを動かすと年金額がリアルタイムで変化し、一目でわかる。

将来受け取る年金見込み受給額を決定する3つの重要な要素である「今後の平均年収」、「退職する年齢」、「年金を受け取り始める年齢」を変更することにより、将来受け取る年金額の増減を簡単に試算することが可能。

The screenshot shows the '働き方の入力' (Work Style Input) section. It includes a '職業' (Occupation) dropdown menu with options like '自営業・フリーランス' (Self-employed/Freelance), '学生・働いていない' (Student/Not working), 'パート・アルバイト' (Part-time/Temporary), and '会社員・公務員' (Company employee/Public employee). Below this are input fields for '会社員・公務員の期間' (Company/Public Employee Period) from 20 to 60 years, and '会社員・公務員期間の平均年収' (Average Annual Income of Company/Public Employee Period) set at 450,000 yen.

個々人の働き方・暮らし方による多様なライフコースに対応するため、働き方・暮らし方、働く期間、年収を直接入力し変更することにより、年金見込み受給額を試算することが可能。

(注) 公的年金シミュレーターは、年金額を簡易に試算することを目的としており、実際の年金額とは必ずしも一致しません。より正確な年金見込み額の確認をする場合には、日本年金機構の「ねんきんネット」の活用をご検討ください。

# 次期公的年金シミュレーターの周知・広報（PIVOT・使い方HP）

公的年金シミュレーターの使い方について、特設サイトの制作、動画を制作。周知広報として、ニュースメディアのPIVOTで公的年金シミュレーターをテーマとした動画を配信予定。

## 公的年金シミュレーター使い方ホームページ・動画

### スマートホンにフォーカスした特設サイト・動画コンテンツ

- 動画については、老齢年金・障害年金・iDeCoの操作方法を詳細に説明する5分程度の長尺動画と、機能の概要を説明する30秒程度のショート動画を制作。
- 使い方ホームページ・動画は令和8年3月中に公開予定

動画のイメージ



## PIVOT タイアップコンテンツ

### 「ビジネス」+「学び」に特化した映像コンテンツ

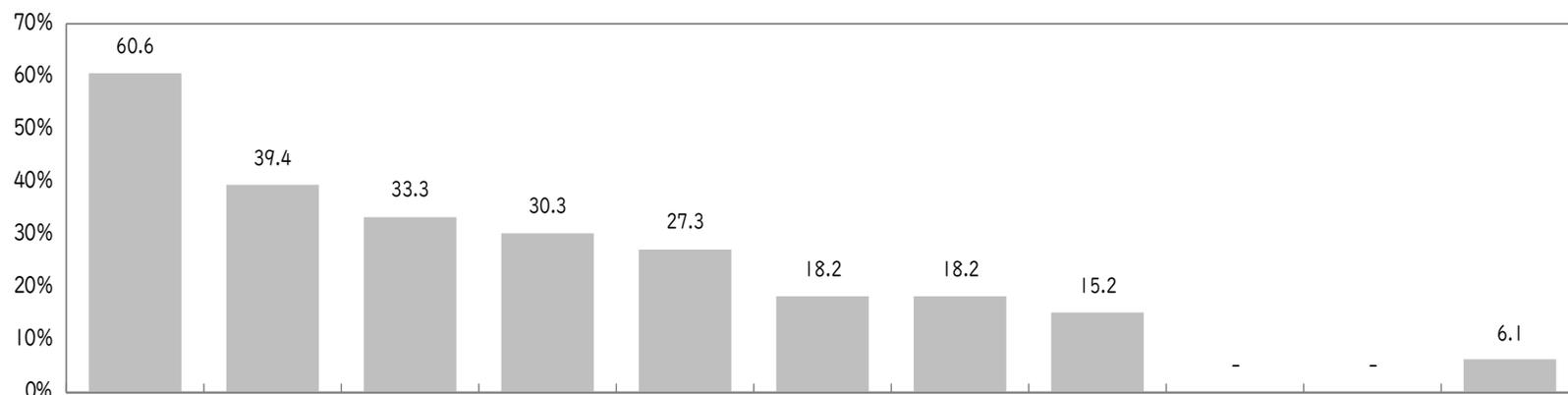
- ニュースメディアコンテンツのPIVOTで、MCが生徒役となり、ゲスト(専門家)からビジネスパーソンに必要なスキルセット・新常識を学ぶ動画
- 公的年金シミュレーターをテーマに老齢年金・障害年金の試算方法やiDeCoシミュレーターの活用法にフォーカスし、ビジネスマンの学びになる映像番組を制作中。
- 令和8年3月中に公開予定。

番組収録風景



# (参考1) 老齢年金シミュレーター（試作版）を利用した方の行動の変化を測る調査

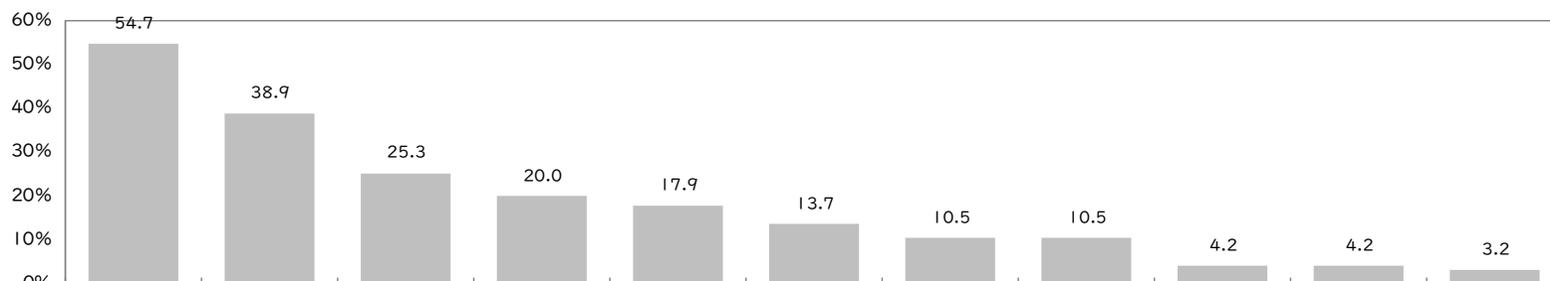
老齢年金シミュレーター（試作版）を利用した方について、「今後どう行動したいか」を調査したところ、①ねんきんネットにより詳細な受給見込み額をシミュレーションしたいと思った（60.6%）、②iDeCoやNISAで自分で備えたいと考えた（39.4%）、③現在の年金制度や将来の年金制度が維持されるかを解説しているWeb記事等を検索してみたと思った（33.3%）となっている。



n=		ねんきんネットにより詳細な受給見込み額をシミュレーションしたいと思った	iDeCoやNISAで自分で備えたいと考えた	現在の年金制度や将来の年金制度が維持されるかを解説しているWeb記事等を検索してみたと思った	同年代の老齢年金を受給している人の平均額と比較してみたいと思った	現在試算した年金額が将来同じように受け取れるか疑問に思い、自分の年代が将来受給できる年金額の将来推計の政府公式データと照合してみたと思った	現在の年金制度や将来の年金制度が維持されるかを解説しているYouTubeの動画を見たいと思った	現在の年金制度や将来の年金制度を生成AIに解説してもらいたいと思った	自分が加入している企業年金について調べたいと考えた	現在の年金制度や将来の年金制度が維持されるかを解説しているInstagramの動画を見たいと思った	現在の年金制度や将来の年金制度が維持されるかを解説しているXのポストを検索してみたと思った	その他	
全体		33	60.6	39.4	33.3	30.3	27.3	18.2	18.2	15.2	-	-	6.1
割付別	年金制度に詳しい方	11	45.5	36.4	45.5	36.4	36.4	9.1	27.3	-	-	-	-
	年金制度に詳しくない方	22	68.2	40.9	27.3	27.3	22.7	22.7	13.6	22.7	-	-	9.1

## (参考2) 障害年金シミュレーター（試作版）を利用した方の行動の変化を測る調査

障害年金シミュレーター（試作版）を利用した方に、今後どう行動したいか調査したところ、①日本年金機構のHPなどで詳しく受給要件を調べたいと思った（54.7%）、②民間の医療保険や就労不能保険に加入するかの参考資料にしたいと思った（38.9%）、③障害年金の手続きにむけて、市役所に相談したいと思った（25.3%）となった。

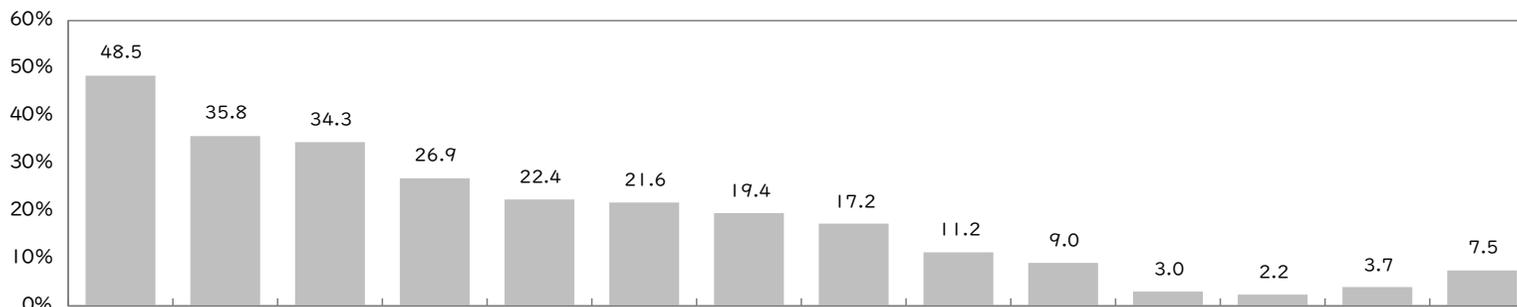


■ 60%以上  
■ 50%以上  
■ 40%以上

		n=	日本年金機構のHPなどで詳しく受給要件などを調べたいと思った	民間の医療保険や就労不能保険に加入するかの参考資料にしたいと思った	障害年金の手続きにむけて、市役所に相談したいと思った	障害年金の申請手続きにむけて年金事務所や日本年金機構のコールセンターで相談したいと思った	障害認定を受けるための初診日や受給要件などを把握するため、社会保険労務士やソーシャルワーカー・年金事務所などの専門家に相談したいと思った	障害年金の申請手続きを速やかにしたいと思った	民間の商品販売を適正に案内するために、利用したいと考えた	診断書作成のため医師にすぐ相談したいと思った	障害手帳を有しているため、自動的に振り込まれると思った	このシミュレーションをすると、自動的に申請手続きが始まると思った	その他
全体		95	54.7	38.9	25.3	20.0	17.9	13.7	10.5	10.5	4.2	4.2	3.2
性別	男性	54	50.0	35.2	24.1	18.5	16.7	13.0	13.0	9.3	7.4	7.4	3.7
	女性	41	61.0	43.9	26.8	22.0	19.5	14.6	7.3	12.2	-	-	2.4
障害年金割付別1	①自身や家族に障がい者がいる/サポートする方	42	50.0	35.7	31.0	28.6	16.7	16.7	7.1	14.3	2.4	9.5	4.8
	②家族に障がい者はいない方	53	58.5	41.5	20.8	13.2	18.9	11.3	13.2	7.5	5.7	-	1.9
障害年金割付別2	①&年金制度(詳しい)	14	42.9	50.0	21.4	28.6	7.1	21.4	14.3	7.1	-	21.4	7.1
	①&年金制度(詳しくない)	28	53.6	28.6	35.7	28.6	21.4	14.3	3.6	17.9	3.6	3.6	3.6
	②&年金制度(詳しい)	24	54.2	29.2	25.0	20.8	25.0	20.8	4.2	8.3	8.3	-	-
	②&年金制度(詳しくない)	29	62.1	51.7	17.2	6.9	13.8	3.4	20.7	6.9	3.4	-	3.4
障害をお持ちの方との関与度別	障がいを持っている方	53	58.5	41.5	20.8	13.2	18.9	11.3	13.2	7.5	5.7	-	1.9
	障がいを持っている方	7	28.6	14.3	42.9	28.6	28.6	-	-	14.3	14.3	14.3	14.3
	家族に障がい者がいる方	20	55.0	35.0	30.0	30.0	10.0	25.0	10.0	20.0	-	15.0	5.0
	関連業者の方(障がい者をサポートする)	15	53.3	46.7	26.7	26.7	20.0	13.3	6.7	6.7	-	-	-

# (参考3) iDeCoシミュレーター（試作版）を利用した方の今後の行動調査

iDeCoシミュレーター（試作版）を利用した方に、今後どう行動したいか調査したところ、①具体的な金融商品を調べたいと思った（48.5%）、②実際にiDeCoへ加入したいと思った（35.8%）、③Web等を検索して詳しく調べようと思った（34.3%）となった。



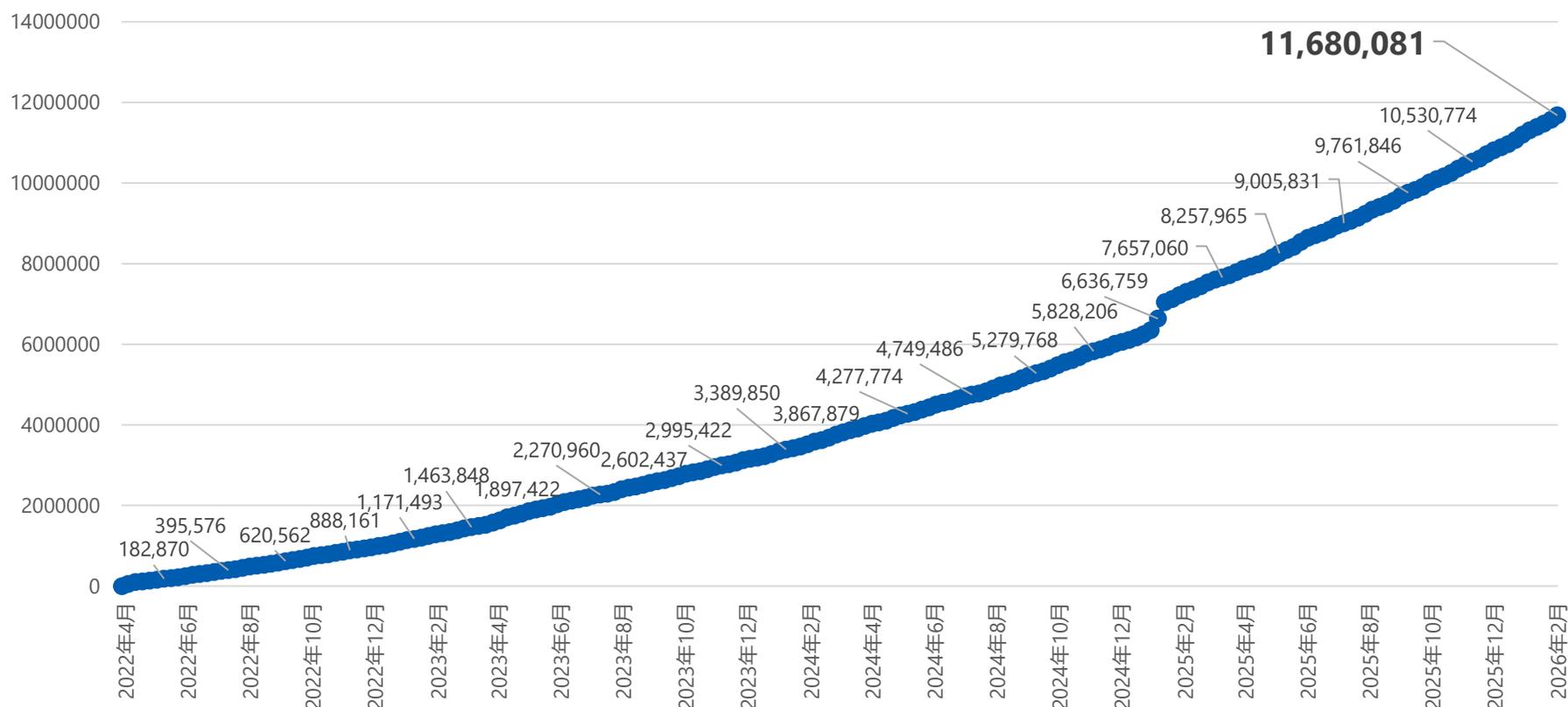
- 60%以上
- 50%以上
- 40%以上
- 30%以上

		n=	具体的な金融商品を調べたいと思った	実際にiDeCoへ加入したいと思った	Web等を検索して詳しく調べようと思った	NISA等の積立制度への加入したいと思った	毎月の掛金額の変更を検討したいと思った	YouTubeの資産運用系の動画を検索して詳しく調べようと思った	貯蓄をしたかったと思った	金融機関のホームページを調べたいと思った	ファイナンシャルプランナーに相談したいと思った	生成AIに解説してもらおうと思った	Xで検索しようと思った	Instagramで検索しようと思った	その他	特に何も行動したいと思わなかった
全体		134	48.5	35.8	34.3	26.9	22.4	21.6	19.4	17.2	11.2	9.0	3.0	2.2	3.7	7.5
年代別	30代	30	36.7	33.3	33.3	26.7	13.3	23.3	13.3	13.3	6.7	3.3	-	-	3.3	20.0
	40代	37	35.1	24.3	29.7	32.4	5.4	27.0	21.6	21.6	10.8	16.2	5.4	5.4	2.7	8.1
	50代	66	60.6	42.4	37.9	24.2	36.4	18.2	21.2	15.2	13.6	7.6	3.0	1.5	4.5	1.5
iDeCo割付別1	①加入手続きあり50代~60代	67	61.2	43.3	37.3	23.9	35.8	17.9	20.9	16.4	13.4	7.5	3.0	1.5	4.5	1.5
	②加入手続き無し30代~40代	67	35.8	28.4	31.3	29.9	9.0	25.4	17.9	17.9	9.0	10.4	3.0	3.0	3.0	13.4
iDeCo割付別2	年金制度に詳しい方	49	55.1	30.6	42.9	26.5	24.5	22.4	18.4	20.4	8.2	6.1	4.1	4.1	6.1	8.2
	年金制度に詳しくない方	85	44.7	38.8	29.4	27.1	21.2	21.2	20.0	15.3	12.9	10.6	2.4	1.2	2.4	7.1
iDeCo割付別3	①&年金制度(詳しい)	27	63.0	40.7	44.4	22.2	33.3	14.8	18.5	25.9	11.1	7.4	3.7	3.7	3.7	3.7
	①&年金制度(詳しくない)	40	60.0	45.0	32.5	25.0	37.5	20.0	22.5	10.0	15.0	7.5	2.5	-	5.0	-
	②&年金制度(詳しい)	22	45.5	18.2	40.9	31.8	13.6	31.8	18.2	13.6	4.5	4.5	4.5	4.5	9.1	13.6
	②&年金制度(詳しくない)	45	31.1	33.3	26.7	28.9	6.7	22.2	17.8	20.0	11.1	13.3	2.2	2.2	-	13.3

## (参考4) 公的年金シミュレーターの利用状況 (試算回数)

公的年金シミュレーターの試算回数は2022年4月25日の運用開始以降、順調に伸びており、1168万回に到達。今後も、試算回数の伸びが想定される。

令和8年2月28日時点



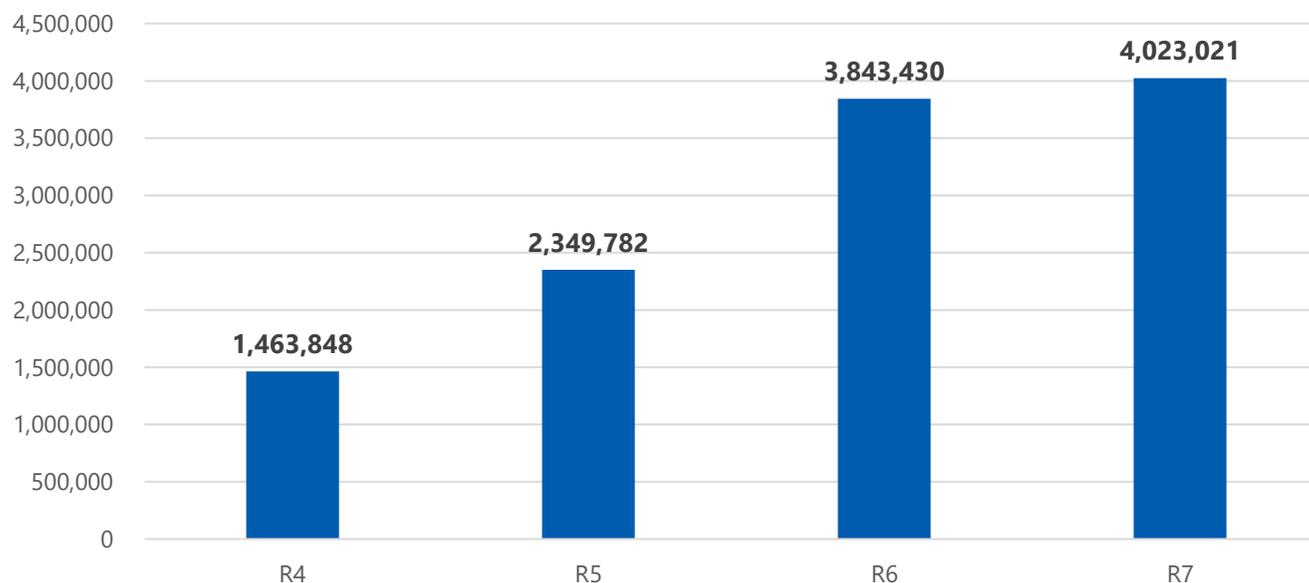
## (参考5) 公的年金シミュレーターの利用状況 (試算回数)

公的年金シミュレーターの利用状況は、年度が進むほど毎週の増加ペースが着実に高まっている。最近の年度ほど、1週間あたりの試算回数の平均値が大きくなっており、長期的な利用の伸びが続いている。

- 2023年度より2024年度、そして2025年度の方が週ごとの増え方が明確に上昇している。
- 直近8週間（2025年12月～2026年1月）では30～44万の高い試算増加が続き、年明け以降も高水準が維持されている。
- 年末年始や年度末など特定の時期に試算回数が増えやすい季節的な波も確認できる。

公的年金シミュレーターの年度ごとの試算回数

令和8年2月28日時点



※令和7度においては、令和8年2月28日時点